

2024

響
音

ゴールデンウィークは、
新緑あふれる上野で極上の演奏を楽しもう！
日本最高峰のオーケストラが贈る

指揮：坂入健司郎

ヴァイオリン：木嶋真優

管弦楽：NHK交響楽団

ゴールデン・
クラシック

ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲 二短調

ショスタコーヴィチ：交響曲第5番 二短調 op.47

2024年5月3日(金・祝) 15:30開演(14:45開場)

※未就学児童の入場不可。
※都合により、出演者・曲目が変更となる場合がございます。

東京文化会館 大ホール S 8,000円 A 7,000円 B 6,000円 C 5,000円 D 4,000円(税込)

チケット発売日

2023年
12月16日(土)

チケットの
ご予約

■東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>

■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/nhkso-goldenclassic/> (Pコード:256-829) セブン-イレブン

■ローソンチケット <https://l-tike.com/nhksogolden2024/> (Lコード:34691) ローソン、ミニストップ店内Loppi

■イープラス <https://eplus.jp/nhkso-golden2024/> FamilyMart店舗

■お問合せ：サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません



主催：MIYAZAWA & Co.

日本最高峰のオーケストラが話題のソリストと競演! ゴールデンウィーク恒例、毎年完売が続く大人気コンサート!

ソリストは数々の国際コンクールを制覇してきた実力派の木嶋真優。
名器ストラディヴァリウスで得意とするハチャトゥリアンを披露します。

指揮者は注目の若手、坂入健司郎がN響初登場。

人気交響曲のショスタコーヴィチ第5番をどう聴かせるか注目です。

珠玉の名曲と極上の演奏を求め、新緑あふれる上野の森へ出かけませんか?

坂入健司郎(指揮)

Kenshiro Sakairi (Conductor)



©Taira Tairadate

木嶋真優(ヴァイオリン)

Mayu Kishima (Violin)



©KINYA OTA(MILD)

慶應義塾大学経済学部卒業。指揮法を井上道義、小林研一郎、三河正典、山本七雄各氏に、チェロを望月直哉氏に師事。また、ウラディーミル・フェドセーエフ氏、井上喜惟氏と親交が深く、指揮のアドバイスを受けている。2008年より東京ユヴェントス・フィルハーモニーを結成。これまで、J.テームス氏、G.プーレ氏、舘野泉氏など世界的なソリストと共演。15年、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンへ出演。MOSTLY CLASSIC誌「注目の気鋭指揮者」にも推挙された。16年、川崎室内管弦楽団の音楽監督に就任。18年には東京シティ・フィルに初客演、オルフ「カルミナ・ブラーナ」を指揮。マレーシア国立芸術文化遺産大学に客演するなど海外での指揮活動も行なった。20年、日本コロムビアの新レーベルOpus Oneよりシェーンベルク「月に憑かれたピエロ」をリリース。21年6月の大阪響に客演、さらに8月の名古屋フィルとの共演(東京オペラシティ)は記憶に残る熱演となった。読響、日本フィル、新日本フィル、東京響、東京フィル、神奈川フィル、仙台フィル、群馬響、名古屋フィル、セントラル愛知響、愛知室内、大阪フィル、京都市響、九州響などと共演を重ねている。

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。2000年第8回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、あわせてその優れた音楽的解釈に対しDavid Garrett賞も受賞した。2012年春にはケルン音楽大学を首席で卒業。2015年秋には同大学院を満場一致の首席で卒業し、ドイツの国家演奏家資格を取得、2016年秋には神戸市より神戸市文化奨励賞を授与された。レコーディングは、ウラディーミル・アシュケナージから強い推薦を受け、「アシュケナージ & NHK交響楽団」の「ツイガーン」に参加。2020年12月にはキングレコードより新譜CD「seasons」をリリース。現在日本とヨーロッパに拠点を置き、リサイタル、オーケストラとの共演、室内楽など幅広く活動を行なっている。2002年度文化庁海外派遣研修員。使用楽器は、宗次コレクションより特別に貸与されたAntonio Stradivari 1699 "Walner"。

NHK交響楽団

NHK Symphony Orchestra, Tokyo



1926年10月5日に新交響楽団の名称で結成。創設後まもなく、ドイツからジョセフ・ローゼンストックを専任指揮者として迎え、日本を代表するオーケストラとしての基礎を築いた。演奏活動の根幹となる定期公演は、1927年2月20日の第1回予約演奏会に始まり、第2次大戦中も中断することなく続けられた。1951年には日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなり、NHK交響楽団と改称。以来、今日に至るまで、ヘルベルト・フォン・カラヤン、エルネスト・アンセルメ、ヨーゼフ・カイルベルト、ロヴロ・フォン・マタチッチ、ウォル

フガンク・サヴァリツシュ、ロリン・マゼールなど、世界一流の指揮者を次々と招聘、また、話題のソリストたちと共演し、歴史的名演を残してきた。2013年8月、ザルツブルク音楽祭に初出演、2020年春には、ベルリン、ウィーンをはじめ、ヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。現在、年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏は、NHKのテレビ・FMで日本全国に放送されるとともに、国際放送を通じて全世界にも紹介されている。また事業の中核の一つである社会貢献活動として、全国の学校を訪問する「NHKこども音楽クラブ」、ファミリー向けの「N響ほっとコンサート」、被災地や病院に安らぎと元気を届ける室内楽コンサート、次世代の音楽家を育成する「N響アカデミー」など、多彩な活動を行っている。指揮者陣には、首席指揮者ファビオ・ルイーゼ、名誉音楽監督シャルル・デュトワ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、桂冠指揮者ウラディーミル・アシュケナージ、名誉指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、正指揮者 尾高忠明、下野竜也を擁している。